

多文化共生のまちづくり講座 第1回「多文化共生ってなんだろう？」

講師：小川玲子さん（千葉大学社会科学研究院 教授）

1. 多様性が尊重される社会へ

私たちの社会は、ここ数年で大きな転換を遂げつつある。

オリンピック…多様性と調和がテーマ（難民選手団の結成）

企業…障がいをもつ人への合理的配慮（障害者権利条約）、女性活躍 が進められている。

LGBTQ+…パートナーシップ制度（47自治体実施で総人口約25%以上カバー）

2020年12月電通調査（6万人対象インターネット調査）によると、

Q. 学校教育で性の多様性について教えるべきだと思うか

A. 「教えるべき」「できれば教えるべき」…計88.7% ※世代間での捉え方の格差もある

→言語・宗教・ジェンダー・国籍・障害・地域・世代…あらゆる“多様性”に注目が集まっている時代であると言える。

〇せめぎ合う声～一方で起きている格差・差別～

「ジェンダーギャップ指数（世界経済フォーラムが毎年公表している、各国の男女間の不均衡を示す指標）」

・政治・経済・教育・健康の4分野における男女格差スコア：日本120位/156か国中（先進国最低レベル）

・特に政治・経済の分野が深刻（男女間の賃金格差、国会議員の女性割合）

・ハラスメント、障がい者差別、いじめ etc.

〇多様性が求められる背景

◆日本社会の変容（1970→2020年の50年間）

・長期人口減少の状況。特に出生数減はコロナ禍で更に加速するといわれている。

・在留外国人数は70万人から300万人近くに増加しており、人口減少の一方でグローバル化が進行している。

◆将来の人口推測

生産労働人口（15～64歳）：2015年→2040年には約2,000万人減るとの予測がある（国立社会保障人口問題研究所）

都道府県別人口推移：数年の間に、地方で急激な人口減少が起きている。地域をどう維持していくかが課題。

◆外国人労働者の推移

2020年外国人登録者数…288万人（都市部に集中）

在留資格別にみると

・身分系〔永住者・特別永住者・定住者・家族滞在〕の資格（活動に関係なく日本に滞在できる）を持つ人が多い。

→日本は定住性の高い人が多いといえる。

・活動系（留学・技能実習・技術人文国際）の資格

（その活動に従事する限りにおいて、滞在が認められる）

産業別にみると製造業が最も多いが、今後医療福祉が伸びてくると予想される。

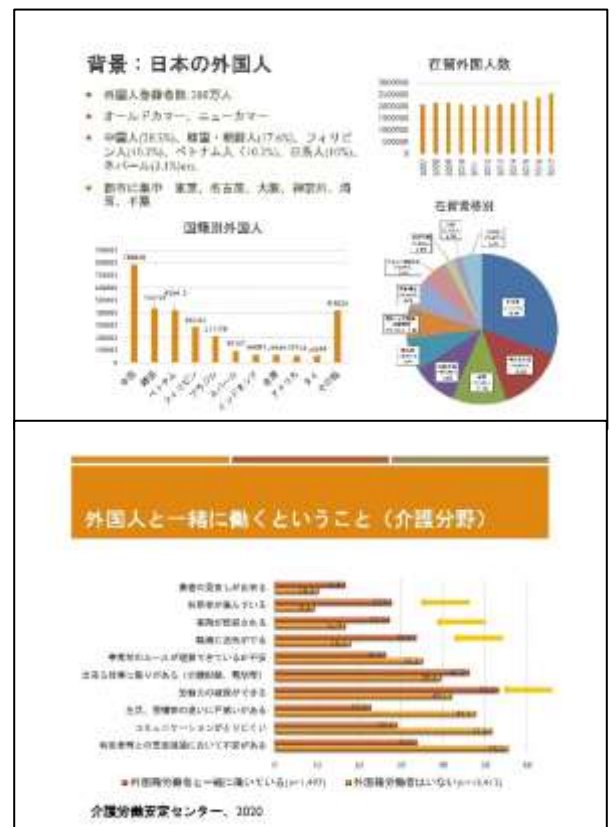
〇外国籍労働者と一緒に働くということ

外国籍労働者と一緒に働いている/いない介護士に聞いた調査

（2020年介護労働安定センターによる調査）

経済連携協定で最初に医療介護業界で外国人が働くようになった2008年時点では、日本人の介護は日本人にしかできないと言われていた（不安感が強かった）。

→この調査の結果、実際に一緒に働いてみたら良い面が様々あるとの意見が寄せられた。



2. 異文化と出会う

私たちは、新しいものと出会うと…

→戸惑う。尋ねてみる。周囲の様子を観察し、真似てみる。自分たちがよく知っているものに引き付けて考える…

文字が変わるだけで、街中の表示がわからない！（海外に行くと皆そうなる）



インドネシアのテンペ
(豆の発酵食品) 納豆バーみたい？！

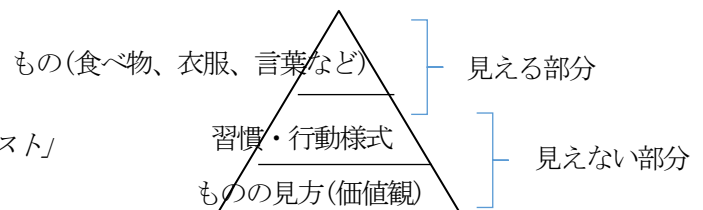
習慣・行動様式の違いは、その場に遭遇してみないとわからない。

その背後には、「ものの見方（価値観）」の違いがある。

文化はよく氷山に例えられる。頂点がもの、真中が習慣・行動様式、下部が「ものの見方」。

「ものの見方」は、歴史、文化、宗教などが複雑に絡み合って形成されている。その人の中では完璧に合理的なのだが、その人以外にはベースにある部分が見えなかったりする。私たちが海外に出たときも、「ものの見方」は問い直される。

自分たちの「当たり前」を疑っていく必要がある。



○言語による違い！「ハイコンテクスト VS ローコンテクスト」

ハイコンテクストな言語…

コミュニケーションが言葉以外の前提や文脈に依存している。
空気を読む文化。曖昧な表現。付度。1を聴いて10を知る。
前提が共有されている（わたしの気持ち、察してね！）。

ローコンテクストな言語…

コミュニケーションは言語に依存し、言葉で伝えることがすべて。（言語化されていないことは分からない）
明解な表現、論理性、質問力、積極性が求められる。
前提が共有されていない。→ “ものの見方” が共有されていない人には、言葉で説明し、明確に伝えることが大事

ワーク「多様な日本人」

Q:朝ごはんはパン？ごはん？ /横綱は絶対日本人であってほしい？/家族が国際結婚するのは反対？

→同じ日本人でも、意見は分かれますね！

《ワークから見えてくること》

日本人の中にもいろんな意見がある（私たち日本人の中でも多様であることに気づく）。

賛成・反対以上にニュアンスがあって、議論してみると、対極に見えても、同じポイントを指摘する場合もある。
議論をもっとできるとよい。

○異文化コミュニケーション能力をアップ

- ・違いを楽しむ（私たち、結構違うね！）…異文化コミュニケーションの第一歩です！
- ・相手の考えを理解、尊重する …なぜそう思うの？を聞いてみると、“ものの見方”の部分がわかる
- ・自文化中心のものの見方にとらわれない…自分の“あたりまえ”を問い直せるとよい
- ・良い聞き役になる

3. 世界とつながる千葉

千葉県で暮らす外国籍者は16万人（全国第6位）

アフガニスタン人は国内に約3,500人、うち約1,500人が千葉県在住（ほとんどが少数民族出身）。

仕事を持って自立して生活している人がほとんど（活動在留資格の人とその家族）。

○カブールからのSOS

- ・20歳少数民族の女性。2021年8月タリバンによる政権掌握後、泣きながら電話で脱出を訴える。その後退避を支援。
- ・日本在住のアフガン人家族。カブールに一時帰国中、日本に戻れなくなる。昨年11月に無事帰国。

家族を呼び寄せたい人はまだたくさんいるが、ビザやパスポートがなくアフガニスタンに残っている。

迫害の恐れがあっても、政府が命のビザを認めない限り来るのは難しい。

アフガニスタンからは 273 万人が難民として海外で暮らしているが、8 割以上は隣国のパキスタンとイランが受け入れ。

4. 難民とは

「難民の地位に関する条約（1951）」 第1条A項

5つの条件（人種・宗教・国籍・特定の社会的集団の構成員・政治的意見）を理由に迫害を受けるおそれがあるという十分な理由を有するために、国籍国の外にいる者であって、その国籍国の保護をうけることができないもの（略）

第33条I項

ノン・ルフールマン原則 「難民申請者を、迫害の恐れがある国には帰国させてはならない」

○日本人も難民だった？～敗戦と引揚～

戦中、植民地や満州、朝鮮半島に渡っていた人たちなどは、難民的な経験（抑留、暴力、食料不足…）をしている。その想像力を、現代も持ち続ける必要がある。

○日本の難民の状況

日本は、1981年に難民条約に加盟しているが、難民認定数は非常に低い（認定率0.3%）。

政治の場で難民問題が重要事項として取り扱われないのは、社会で難民問題に関心を寄せる人が少ないことも要因。

「難民は危ないのでは？トラブルを起こす人たちでは？」という社会の誤解

→難民こそ暴力とテロの犠牲者であり、庇護の必要性を理解すべきである。



5. 君津市の外国人

外国人市民の人口は緩やかに上昇している。在留資格的には永住者が3割を占めている（定着性の高い人が多い）。

【国籍別：1位フィリピン 2位中国 3位ベトナム 4位韓国 5位ブラジル】 *全国の状況を反映している

全国調査でみると、外国人との付き合い、接触も全体的に増えている。同時に、差別などの問題も懸念される。

○外国人とは誰か？

ワーク①この中で誰が「日本人」？

（国籍・血統・居住・言語・文化などのうち、何が重要な要因だと考えられますか？）

②日本では「外国人」に対してどのようなイメージを持っていると思いますか？

《ワークから見えてくること》

見た目が日本人でも、言語や文化が違う人もいるし、その逆もある（見た目が外国人でも、日本人よりも日本人らしい人）。

私たちは当たり前のように日本人・外国人というが、いくつもの要因があって、定義づけるのは複雑だということがわかる。人により感じ方は違う。答えはなく、引き続き考えていきたいテーマ。



法的には「国籍」によって区分される。

日本の国籍法は血統主義（親のどちらかが日本人であれば国籍取得できる）。

人間を分類するという営みには常に暴力性が伴う。特定の分類レンズを通して対象がまなざされるゆえに（私たちの

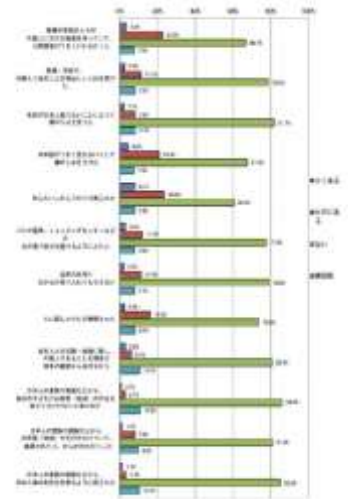
社会の側がステレオタイプを創り出し、外国人を見ているということ)、差異はつくられるのだということ、覚えておく必要がある。



公益財団法人 人権教育啓発推進センター 「外国人住民調査報告書」 2017, <http://www.nisaj.go.jp/content/001226182.pdf>

あなたは日本で過去5年の間に、次のような経験をしたことがありますか？

- 「知らない人からジロジロ見られた」 31.7% (「よくある」と「たまにある」の合計)
- 「職場や学校の人々が外国人に対する偏見を持っていて、人間関係がうまくいかなかった」 26.0%
- 「日本語がうまく使えないことで嫌がらせを受けた」 25.1%
- 「人に話しかけたが無視された」が 18.4%
- 「バスや電車、ショッピングセンターなどの公の場で自分を避けるようにされた」 14.9%



○主な国の移民統合政策指標（移民がどれくらい統合しているかを8つの政策分野と169の指数で評価）2020年日本は38か国中34位。「統合を拒否している国」に分類されている。

- ・ 基本的権利の保障—内外人平等の権利が与えられているか？
- ・ 保健医療は改善されているが、特に機会の平等（政治参加、教育）が与えられていない。
- ・ 安全な未来 長期滞在や国籍取得、家族帯同に課題。
- ・ 差別禁止は特に低い。包括的な差別禁止をうたった法律が日本にないことが問題。

○地域の実践

地域NPO、大学、行政、施設…それぞれの持ち味を生かし、人材を地域で育てている実践例を紹介。

そこで育てられた人が恩返しをしたいと、パフォーマンスチームを組んで地域をまわっている。支援された人は次は地域の重要な担い手となり、支える側にまわっていく。→地域で人材育成をすれば、社会の一員として貢献

《全4回の講座を通じての宿題》

- ・ あなたの身近な外国人はどのようなニーズを持っていると思いますか？
- ・ それに対して私たちは何ができそう・できるでしょうか。

質疑

Q:永住者と特別永住者の違いは？

A:特別永住者とはおもに在日コリアンの方たちで、植民地時代には日本人だった。

内地戸籍と外地戸籍に分けられていたのが、内地戸籍の日本人とは差別化されていた。戦前、日本人女性には参政権はなく、日本に住む在日コリアン男性には選挙権があったが、サンフランシスコ講和条約締結前に、日本国籍を一方的にはく奪された。

永住者…10年を目安に、自立して日本に生活の基盤がある人。永住者のビザが申請できる。

文責:周西公民館 三枝